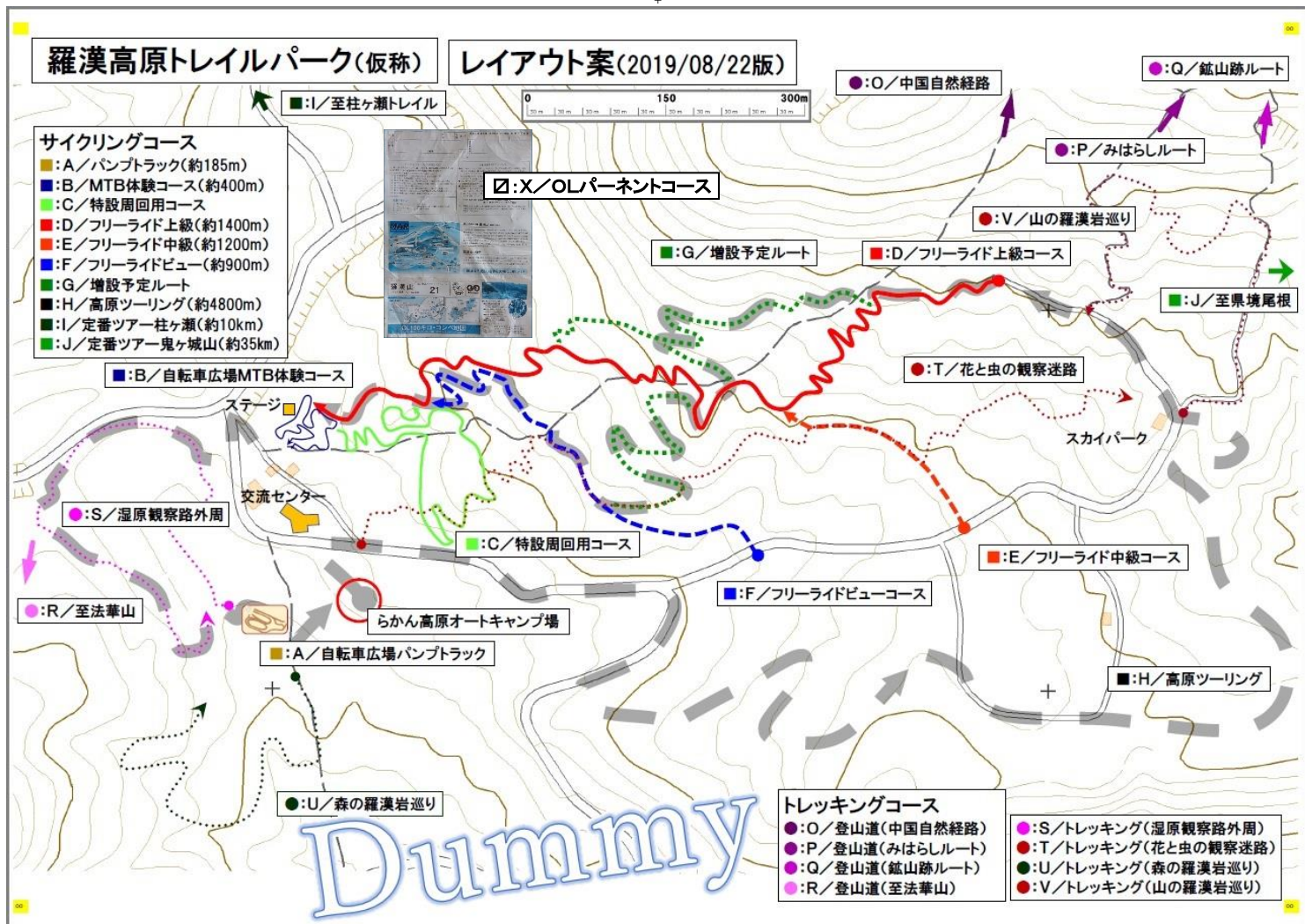


点:トレイルメンテナンス / 点の中の点、当企画の原点としての主翼企画



## 《《羅漢高原トレイルパーク》》

(内容の補完を表す「Closed & Open」、目的の攻守を表す「Ready & Promotion」。それぞれバランスを取りながら展開案を組み立てる。)

クローズド	羅漢高原トレイルパーク	企画メモ:CO/RP の中でCに重点を置くもの。 Rとしては、様々なトレイルの整備を通じて多様な関係者と連絡を密にすること。Pとしてのイベントが肝で、ネットワーク作りが課題。
オープン	(アクセスルート)(オープンマインド)	
レディ	トレイル整備	
プロモーション	羅漢トレイルフェスティバル	

◇**トレイルパーク構想**: 羅漢山県立自然公園には様々な自然愛好者が集う。その集いを大切に、より有機的に楽しめる環境整備として、既存のオリエンテーリングコースや登山道を含む様々な道(トレイル)を再々提案。

◇**羅漢トレイルフェスティバル**: 日本ではあまり知られていない「競技オリエンテーリング」も、欧米ではマップリーディング系フィールドアクティビティが遊びの基本。その普及・啓蒙を目的とした羅漢トレイルフェスティバルは【やましろ街道物見遊山・外伝(仮)】の**片翼**を担う企画。

★主催運営管理など: 羅漢高原トレイルパーク共同管理委員会 / P5

- A: パンプトラック/指定管理地内に設置された「子供自転車広場」のBMX用ダートコース。
- B・C: MTB周回コース/指定管理地内に設置された「大人自転車広場」のMTB用ダートコース。
- DEFG: フリーライドコース/小羅漢山の南麓植林地帯にローインパクト作業で設置のMTB用ダートコース。
- H: 高原ツーリングコース/羅漢高原で考えられる最長距離のMTBツーリング用の周回コース。
- I・J: 定番ツアー用コース/羅漢高原に接する尾根道を利用した定番ツーリングを目指す候補地。

- OPQR: 既存の登山道/分かり易い看板の設置や、定期的なメンテナンスが必要。
- STUV: 新規トレッキングコース/昆虫や植物の観察、また羅漢山の由来ともなった羅漢岩を巡る新コース。
- X: OLパーネントコース/山口県21羅漢山(JOLC登録コース:No.618)